

工学研究科 環境デザイン専攻 博士前期課程

【教育目標】

教育研究上の目的を受けて「美・アメニティ・機能を備える接続可能な環境・空間・モノ（器物や製品）を、多様な視点、豊かな感性、確かな技術力・想像力をもってデザインし、より望ましい生活環境を総合的・包括的に創出する」という理念のもとに、都市環境、建築、インテリア、クラフト、プロダクトのデザイン専門分野だけに留まらず、横断的にデザインの幅広い分野で活躍でき、我が国のみならず国際社会にも活躍できるデザイナー、研究者の育成を教育目標としている。そのために、高い専門性と深い学識に加えて分野横断型の幅広い専門性ならびに豊かな教養・デザイン力・国際性を兼ね備え、新しいデザイン分野を切り拓く高い創造性を持った人材を育成することを目標としている。

【ディプロマ・ポリシー】

専攻が定めた所定の単位を修得し、修士論文、あるいは修士作品の審査を受け、それに合格した者に修士(工学)の学位を授与します。

修了にあたっては、都市環境・建築・インテリア・クラフト・プロダクトのデザイン分野における幅広い知識や、その基礎知識に裏付けられた高度な専門知識や技術、表現力、そして、これらに応用できる能力を身に付けていることが求められます。

【カリキュラム・ポリシー】

環境デザインでは都市環境・建築・インテリア・クラフト・プロダクトの分野を扱っています。これらは互いに深く関連しており、これからの文化・社会環境を形成していく重要な分野となるため、各専門分野の学術的進展と共に各分野を横断しながらの学問的展開が望まれています。このような社会的要請に応えるため、リサーチワークにおいてデザインの基礎研究から応用に渡る研究を行うと同時に、コースワークにおいて関連分野の広い見識を深め、グローバルな視点からの独創的なデザインの開発と研究を担うことのできる人材を育成するという教育目標に基づき、以下のような教育課程を編成し、実施します。

1. 環境の領域を「場所的環境」「域的環境」「情報系」「環境基盤系」に分けながら「学系」と「術系」との融合において、環境デザインに関わる高度の教育体系的な科目を提供する。
2. 都市環境デザイン、建築デザイン、インテリアデザイン、クラフトデザイン、プロダクトデザインのそれぞれのデザイン分野において、高度の専門的知識・能力を涵養する科目を提供する。
3. ゼミナール、調査研究、製作研究、課題研究のそれぞれの内容については、自主的に課題を解決できる能力を育成するためのコースワークとリサーチワークを適切に組み合わせ、修士研究の指導内容を含めて、指導教員とともに様々な分野の教員が指導をおこなう。
4. 公聴会を実施し、より完成度の高い修士論文・修士作品を目指す。

【アドミッション・ポリシー】

環境デザイン専攻は、環境デザインや情報処理を含むデザイン技術を備え、すべての人が快適に過ごすことのできる生活環境を創造できる技術者の育成を目指しています。その教育にあたり、本専攻では、次のような人材を求めています。

(求める学生像)

- (1) 都市環境・建築・インテリア・クラフト・プロダクトのデザイン分野において自らの課題を発見して解決するために必要となる基礎的な知識、技術を備えている人。
 - (2) 研究活動において、柔軟な発想と洞察力をもって課題の発見に対し努力でき、積極的に取り組む意欲を持っている人。
 - (3) 深い探究心を持ち、高度な専門性を必要とする職務を担おうとする人。
- 入学者選抜においては、下記に示す入学者選抜方法で厳正に実施します。

(選抜方法)

入試名称 求める学生像	推薦	一般
(1)	◎	○
(2)	◎	◎
(3)	◎	◎

改正 2023年4月25日